

## 第4B(小)分科会 組織・運営に関する課題

提案主題 組織的な取組を担う人材の育成

サブテーマ ～マネジメントツールの活用を通して～

協議の柱 組織的取組を担うミドルリーダー等人材を育成するための教頭の役割はどうあればよいか。

提言者 豊後大野市立犬飼小学校 衛 藤 浩

### 1 質 疑

Q 意思決定が迅速に行われているが、決定事項の教職員への周知徹底はどのように図っているか。

A 各プロジェクトリーダーが運営委員会のメンバーである。運営委員会での決定事項は、週1回のプロジェクト会議のなかで、各プロジェクトリーダーより報告・周知している。また、提案内容をコンピュータの共有フォルダに保存することで、教職員がいつでも見られるようにしている。

### 2 協 議

(1) ミドルリーダーを育てるための組織の工夫

- ・各プロジェクトの1年間の進行管理表を作成し、リーダーが見通しをもって各プロジェクトを進められるようにする。
- ・主任の分掌状況把握を促すためには、教頭が進捗状況をこまめに確認し、指導することが重要である。
- ・教務主任については、来年度・再来年度を見据えた教職員へのはたらきかけをしていく。
- ・年間の教務主任の仕事を整理してマニュアルを作成し、次年度に引き継ぐ。

(2) ミドルリーダーの意識を高めるための工夫

- ・プロジェクト会議の前にプロジェクトリーダーと必ず内容を確認し、責任をもって会議がすすめられるようにするとよい。
- ・教頭が全てを引き受けるのではなく、主任にある程度任せすることも重要。そのためには、主任と学校課題を共有し、つねに情報交換を行い、同じベクトルで学校課題の解決にあたる必要がある。
- ・ミドルリーダーに職員どうしを「つなぐ」役割があることを伝えていく。

### 3 指導助言

(1) 「チーム学校」の趣旨に沿った、組織マネジメント・人材育成がますます重要になっている。管理職は、リーダーシップだけでなく職員の成長を促すフォローシップも必要である。

(2) 会議は意思疎通の場として大切なものである。時間確保は難しいが、朝や放課後の時間を活用し、短時間でもプロジェクト会議等のチーム会議を持ち、ミドルアップダウンマネジメントを機能させ、ミドルリーダーを育成してほしい。

(3) 前例踏襲をやめ、昨年度までの良い点、改善点を見直しながら新しいアイデアを取り入れるよう、職員をサポートしてほしい。